



大雨に係る 鳥取県災害警戒連絡会議

【日 時】令和元年6月28日(金)午後3時00分～

【場 所】災害対策本部室（県庁第2庁舎3階）

【参加者】知事、副知事、統轄監、危機管理局、元気づくり総本部
総務部、地域振興部、観光交流局、福祉保健部
生活環境部、商工労働部、農林水産部、県土整備部
企業局、教育委員会、鳥取地方気象台

*各総合事務所、市町村、消防局には映像配信

1

目的・次第

目 的

- ◆大雨に関する情報の共有、市町村・県民への注意喚起及び警戒・即応体制の確保を図る。

次 第

- ◆知事挨拶
 - 1 6月30日～7月1日にかけての大雨の見通し（鳥取地方気象台）
 - 2 市町村・県民への注意喚起等
 - （1）市町村への依頼事項
 - （2）県民への注意喚起等
 - 3 警戒・即応体制の確保等（各部局等の対応）

2

1 6月30日～7月1日にかけての大雨の見通し

鳥取地方気象台 令和元年6月28日13時

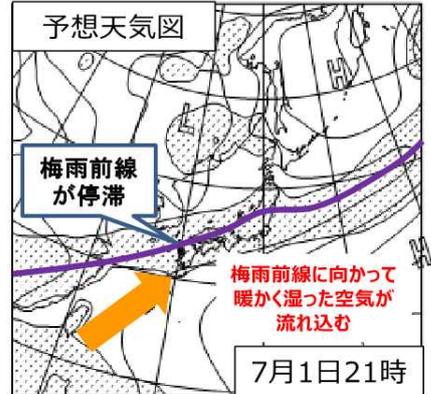
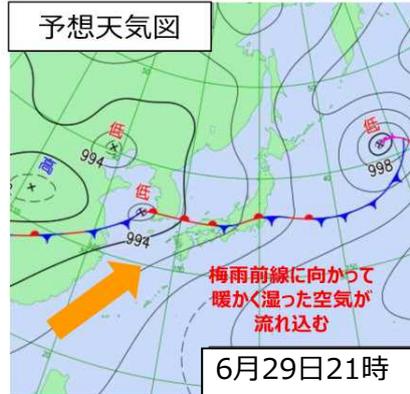
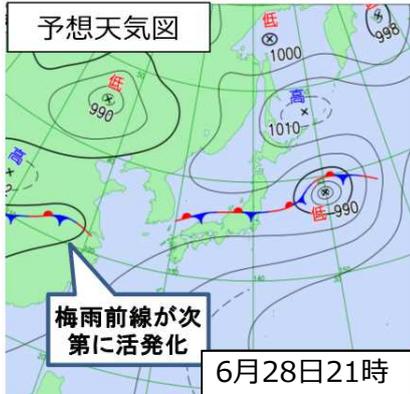
<概況> 梅雨前線が6月30日から7月1日頃にかけて日本付近に停滞する見込み。前線に向かって南から暖かく湿った空気が流れ込むため、活動が活発となる見込み。

<大雨> 鳥取県では、6月30日から7月1日頃にかけて大気の状態が不安定となり、1時間20ミリ以上の強い雨が断続的に降るおそれ。

<今後の雨量: 予想される24時間雨量(多い所)>

28日12時～29日12時: 40ミリ。29日12時～30日12時: 50～100ミリ。その後、雨量はさらに増える見込み。

<注意・警戒事項> 土砂災害、低い土地の浸水や河川の増水に注意。気象台が発表する最新の気象情報等に留意。



日付	29日	30日	1月	2日	3日	4日	5日	
鳥取県	曇時々雨	雨時々止む	曇時々雨	曇一時雨	曇	曇一時雨	曇一時雨	
降水確率(%)	60/50/40/80	80	70	50	40	50	50	
信頼度	/	/	A	C	C	C	C	
鳥取	最高(°C)	27	28 (26~30)	27 (25~31)	28 (26~32)	29 (27~32)	28 (26~32)	28 (25~32)
	最低(°C)	22	22 (20~23)	21 (20~23)	21 (18~23)	21 (18~23)	21 (19~24)	21 (18~23)
平年値	降水量の合計		最高最低気温					
鳥取	平年並 26 - 61mm		最低気温 20.4 °C		最高気温 28.1 °C			

種別	06/28 11:00発表				06/28 11:00発表					
	夕方まで 12-18	夜～明け方 18-24	0-6	6-12	朝～夜遅く 6-12	12-24	30日	01日	02日	03日
警報級の可能性	-	-	-	-	-	-				
18時間最大雨量(ミリ)	15以下	15以下	15以下	15以下	20		[中]	[中]	-	-
36時間最大雨量(ミリ)	25以下	25以下	25以下	25以下	25以下				3	
24時間最大雨量(ミリ)				50から100						

2 市町村・県民への注意喚起等 (1) 市町村への依頼事項(その1)

■ 市町村における対応の徹底

誰ひとり逃げ遅れることなく安全に避難する意識を住民一人ひとりが持つよう、以下の点などを改めて住民に周知してください。

- 早め早めに安全な場所に避難すること (自主避難含む)
- 「警戒レベル4」で、**全員避難**すること<今シーズンから導入>
- 防災・気象情報をこまめにチェックすること など

避難情報の発信については、従来どおり、次の点にも留意してください。

- 早期の発出
- 様々な手段を用いて、確実に住民へ伝達
- 夜間の状況を予測して早めに発出の判断

※状況が急変した場合には、夜間でも避難情報の発出は必要

2 市町村・県民への注意喚起等 (1)市町村への依頼事項(その2)

- 本年の出水期から、5段階の数字で「警戒レベル」を用いた情報発信が行われています。
- 新しい表現のため、まだ住民へ十分浸透していないと考えられます。
- 市町村ホームページなどを活用して、周知をお願いします。
(報道機関各社でも周知にご協力をお願いします)
- 防災無線の文例(5/28運用通知)、あんしんトリプルメール等のひな形(6/7通知)を再確認してください。

警戒レベル	とるべき行動	避難情報
5	命を守って!	災害発生
4	全員避難	避難指示(緊急) ・避難勧告
3	高齢者など避難	避難準備
2	避難方法確認	—
1	最新情報に注意	—

(参考)
NHKによる警戒レベルの
説明図

5

2 市町村・県民への注意喚起等 (1)市町村への依頼事項(その3)

■避難勧告等を発出する際の住民への伝達文の例(R1.5.28危機管理政策課長通知 抜粋)

警戒レベル	避難情報	避難勧告等を発出する際の住民への周知内容(洪水の例)
レベル3	避難準備・高齢者等避難開始	<ul style="list-style-type: none"> ■ 警戒レベル3、高齢者等避難開始の情報です。 ■ ○○地区に避難準備・高齢者等避難開始情報を発令しました。 ■ ○○川の水位が上昇しています。 ■ ○○地区の高齢者など、避難に時間のかかる方は、避難を開始してください。 ■ 避難のための支援ができる方は支援行動を開始してください。 ■ それ以外の方については、家族との連絡や非常用持出品の用意など避難の準備を行い、気象情報に注意して、危険だと思ったら早めに避難してください。
レベル4	避難勧告	<ul style="list-style-type: none"> ■ 緊急放送、緊急放送、警戒レベル4、全員避難開始。 ■ ○○地区に避難勧告を発令しました。 ■ ○○川の水位が上昇し、生命、身体への危険が高まっています。 ■ ○○地区では、速やかに全員避難を開始してください。 ■ 避難場所への避難が危険な場合は、近くの安全な場所に避難するか、屋内の高いところに避難してください。
レベル4	避難指示(緊急)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 緊急放送、緊急放送、警戒レベル4、直ちに全員避難。 ■ ○○地区に避難指示を発令しました。 ■ ○○川の水位が上昇し、生命、身体への危険が非常に高まっています。 ■ ○○地区では、直ちに避難を完了してください ■ まだ避難していない住民の方は、直ちに避難行動をとるか、外出することが危険な場合は、屋内の安全な場所に避難する等の命を守る行動をとってください。

6

2 市町村・県民への注意喚起等 (1)市町村への依頼事項(その4)

従来からお願いしている事項です

<浸水リスクが高い地域の対策>

過去に浸水被害があった地域など、対策の再確認をお願いします。

- ・詰まりやすい用水路の点検や清掃
- ・水位計や監視カメラがない中小河川の状況を収集する体制、連絡系統の確認
- ・必要に応じて排水ポンプ車の要請 など

<避難情報の判断にあたっての情報収集>

必要に応じて県へ助言を求めてください。

<初動体制の速やかな確立>

気象情報の収集伝達、職員参集体制の確認等

<迅速な避難体制の確立>

避難勧告等発令基準や消防団等への連絡手段の確認、ハザードマップの活用等

<避難行動要支援者等の支援対策の強化>

該当施設等への情報伝達体制、避難誘導上の配慮等の確認等

<被害規模の早期把握と迅速な報告>

7

2 市町村・県民への注意喚起等 (2)県民への注意喚起等

- 市町村は防災行政無線等、県はホームページやあんしんトリピーメール、あんしんトリピーなび等を活用して県民に警戒するよう注意喚起します。
- 県民の皆さまにあっては、最新の気象情報を確認するとともに、身の危険を感じたり、市町村からの避難勧告等があった場合は、あわてず速やかに避難してください。

ホームページ「とりネット」



「あんしんトリピーメール」

スマホや携帯電話等に気象情報や防災情報等を配信



アプリ「あんしんトリピーなび」

鳥取県が提供する無料の総合防災アプリ

○iPhone用QRコード ○Android用QRコード



8

3 警戒・即応体制の確保(各部局等の対応)

県土整備部

1. H30被災箇所への対応状況

- ・県全体の被災箇所490箇所中、168箇所完了。
- ・施工中の142箇所については、請負業者に安全対策を指示済み。
- ・未着手の180箇所については、パトロールを実施し、異常が確認された場合、速やかに応急対応できる体制を整えている。

県全体被災箇所数	完了	施工中	未着手
	490	168	
割合	34%	29%	37%

2. 大雨強風時の道路・河川等のパトロール体制等

- ・各所・局とも、梅雨前線豪雨の状況変化(気象情報・県内での降雨状況等)に応じて管内の道路や河川等のパトロール体制や水防体制を整えている。
- ・また、工事現場の資材管理等については、請負業者に指示し、現場の安全対策を徹底している。

9

県土整備部

3. ダム管理者(県土整備部、国土交通省)

- ・洪水に備え、治水容量を確保している。(佐治川ダム・賀祥ダム双方とも、事前放流により制限水位より低い状況にある。)
- ・ダム放流の実施にあたっては、人命を確実に守るため、ホットラインの活用等により確実に関係市町村に伝達することの徹底及び、下流住民へ情報伝達を適時・的確に行う体制をとることを再確認するようダム管理者へ指示済。
- ・気象状況・ダム水位等を注視しつつ、できる限り早期に関係市町村及び下流住民に放流予告を連絡周知する。

○2、3日前から …… 警戒体制配備の予想時刻等を市町村に連絡し、情報連絡体制の再確認をする。

○放流開始予告 …… 関係機関通知・サイレン警告、警報車によるアナウンス

○ただし書き操作予告 …… 関係機関通知・サイレン警告、警報車によるアナウンス

ただし書き操作とは→ダムが満水となった時点から貯水位をこれ以上あげないように流入量をそのまま放流する操作のこと。

4. 県内河川等の確実な排水機場の稼働及び適切な樋門操作

- ・排水機場が確実に稼働するよう、事前点検を実施済。
- ・樋門等の適切な操作についての再確認や、非常時における樋門操作等に係る関係機関との情報共有を徹底するよう指示するとともに、住民への避難に関する情報の発信・伝達等について点検や体制強化を図っている。
- ・豪雨等により、過去に浸水発生又は排水ポンプ車が出動した箇所については、上記と併せ、河川パトロールによる水位情報の把握や排水ポンプ車の支援体制の確認を徹底するよう指示した。

<清水川排水機場について>

- ・給水タンク設置済(冷却水緊急補充用)
- ・排水機場運転時: 県職員派遣(1名)+事務所連絡員待機(1名)
- ・気象状況に注視し、車両基地(鳥取市千代水)に配備している「新排水ポンプ車」を清水川排水機場に待機させる。

県土整備部

5. 大呂地区地すべりの監視体制

- 今年2月、一部の伸縮計の動きが活発化したため、3月13日より次のとおり監視体制を強化中。

区 分	監視基準			体制
	伸縮計		その他	
	1時間	24時間		
監視体制Ⅰ	1.0mm以上継続	10.0mm以上		自宅待機(2名)
監視体制Ⅱ	1.0mm以上継続	10.0mm以上	雨量25mm/hr 又は 80mm/24hr	自宅待機(1名) 職場待機(1名)
警戒体制	2.0mm以上継続	10.0mm以上	連続雨量200mm 河川への土砂堆積の おそれがある場合	土砂崩落等の 報告があれば 班長+班員(2名)

- 4月中旬以降は、小康状態を保っている。
- 土砂崩落に伴い北股川が閉塞した時に備え、現在、北股川への排水管の設置と県道の迂回路整備を実施中。

6. 鳥取西道路の事前通行規制(県土整備部、国土交通省)

- 5月12日に開通した鳥取西IC～青谷ICにおいては、豪雨時に連続雨量100mmで事前に通行止めの規制をすることから、鳥取自動車道の道路情報板や県道上に設置する案内看板で迂回路を誘導する体制を整えている。

(鳥取IC～鳥取西IC間は、開通5年経過、207mmの降雨を経験していることから、規制雨量は140mm)

7. (一社)鳥取県建設業協会と災害時応援協定に基づく対応

- 災害発生時には、「災害時における応急対策業務等に関する基本協定書」に基づいて対応していただくよう、(一社)鳥取県建設業協会に事前に要請した。

11

企業局

ダム状況

- 中津ダム(三朝町)

ダム水位 7.75m (28日午前9時)

(放流ゲート下端 11.5m、常時満水位 16m)

貯水率 24%

➤土曜日にかけ、発電により水位を下げ、更に貯水容量を確保する予定

➤大雨警報が発表されれば、ホットラインの活用とともに、三朝町へのリエゾン(災害対策現地情報連絡員)派遣を検討

※茗荷谷ダム(若桜町)

リニューアル工事中のため、放流ゲートを全開して放流を継続

12

農林水産部の対応

1 農業関係

- 農作物等の管理について、各市町村、農協、農林局等へ対策を講じるよう連絡。(6/7、6/28)
[連絡内容]・農作物の管理について(水稻、大豆、野菜、花き、果樹、飼料作物、家畜)
[農作物の状況と現場の対応]

スイカ	全体の約5割出荷。ハウス栽培がほぼ終わり、残りトンネル栽培。降雨後の防除指導。
白ネギ	夏ネギはトンネル作型を出荷中。来週から露地へ切り替え。排水対策等を指導。
ブロッコリー	初夏どり作型はほぼ出荷終了。秋冬どり型の定植は7月末から開始。
梨	大袋かけは9割終了。長雨に備えた排水対策や防除を指導。

2 農地・ため池関係

- 各出先機関へ施工中の工事現場に「安全管理(看板等の固定、排水対策等)の徹底」を指示。(6/27)
- 大口堰、大井出堰、米川等について樋門管理の徹底を依頼。(6/27)
- 梅雨期及び台風期における防災態勢の強化について、各市町村、農林局へ依頼。(6/14)
さらに、台風第3号接近に伴う事前点検及び災害発生時の復旧箇所における応急対策の実施、ため池等の農業用施設の安全管理の徹底について、各市町村、農林局へ依頼。(6/27)
- 新たに選定した防災重点ため池の連絡体制は各市町において整備済。(6/21)

3 林業関係

- 各農林局等から管内事業者及び各市町村に対して土砂災害等の注意喚起など、二次災害発生防止に向けて情報収集と安全管理の呼びかけを依頼(6/27)。
- 各林業関係組合に対して、土砂災害等の注意喚起など各組合員への安全対策・安全管理の徹底を依頼(6/27)。

4 水産関係

- 各漁業協同組合や水産関係団体向けに、注意喚起を実施(6/27)。

13

地域振興部の対応等

6月28日(金) 午前11時時点

1 私立学校への注意喚起等

熱帯低気圧の接近等を踏まえ、文部科学省から情報提供を受け、私立学校へ注意喚起。(6/28)

⇒防災体制の強化を図り、児童生徒等の安全確保等に万全を期すよう依頼

2 県及び関係団体が実施する週末の主なイベント等

○レーザー級世界選手権(境港公共マリーナ)・・・公式練習期間中

⇒少雨であれば影響なし。当日の天候をみながら対応。

○競技体験プログラム(カヌー)・・・29日(土)(東郷湖)、30日(日)(大山赤松)のそれぞれ午前に開催

⇒基本的には、当日の天候等を見ながら実施可否を判断。

○とっとり伝統芸能まつり・・・30日(日)午後1時30分～倉吉未来中心

⇒予定通り開催

3 公共交通機関の運行状況

○現時点で運休など決定したものはない。

○最新の公共交通機関の運行状況について、とりネットやあんしんトリピーメールにより随時情報提供を行う。

14

観光交流局の対応等

1 大雨による航空便運航への影響等 (6月28日10:00時点)

現時点では通常運航予定。今後の影響を注視し、情報収集する。

【国内線】 (ANA HP: 日本時間2019年6月28日09時30分現在)

■米子空港 通常どおり運航予定

■鳥取空港 通常どおり運航予定

【国際線】

■エアソウル 通常どおり運航予定

■香港航空 通常どおり運航予定

2 県内のイベント等への影響 (6月28日(金)10:00時点)

(1) 最新の気象情報をもとにイベント実施(開催準備含む)を判断いただくよう観光連盟から会員(企業・市町村等)に周知する。

(2) 中止情報は、とりネットトップページ及び観光連盟HPで周知する。

15

福祉保健部の対応

福祉施設・医療機関への注意喚起

○今後の気象状況によっては、福祉施設・医療機関に対し、随時、気象台が発表する警報などの気象情報に注意していただき、大雨に対する警戒や必要な対策を講じていただくよう注意喚起を行う。

○注意喚起を行う際は、特に土砂災害警戒区域や浸水想定区域に所在の施設は、市町村から発出される避難勧告等による早めの避難などに心がけていただくよう依頼する。

16